

2017年11月13日

タマホーム株式会社

東京都港区高輪 3-22-9

栃木県とタマホームが 「花粉の少ないとちぎの元気な森づくり協定」を締結

栃木県(知事:福田富一)と、[タマホーム株式会社](#)(本社:東京都港区、代表取締役会長兼社長兼 CEO:玉木康裕 以下、タマホーム)は、「花粉の少ないとちぎの元気な森づくり協定」を本日2017年11月13日に締結いたしました。

タマホームは、国産材の家づくりを通じて、森林環境や地域社会への貢献に取り組んで参りました。伐期に達した国産材を住宅建材として積極的に使用することは、再生林の促進につながり、同時に花粉発生源の縮減にもつながります。そして当社は一歩踏み込み、2016年度より再生林時の花粉の少ない苗木への植え替え支援にも取り組んでおります。なお、この取り組みは「ウッドデザイン賞 2017」(主催:ウッドデザイン賞運営事務局/林野庁補助事業)を受賞しました。

◇関連ニュースリリース: [TOP](#) > [お知らせ](#) > [2017 2017.11.01 「ウッドデザイン賞 2017」受賞のお知らせ](#)

「花粉の少ないとちぎの元気な森づくり協定」は、主要な花粉発生源のひとつである成熟したスギ林を伐採して、住宅建材として積極的に使用し、花粉の少ない品種への植え替えを進めることにより、森林資源の循環利用を促進し、栃木県の森林の若返りを図るとともに、社会問題となっている花粉症対策を一体的に進めることで、県民に貢献することを目的とします。



栃木県知事 福田 富一 様

タマホーム代表取締役会長兼社長兼 CEO 玉木康裕

【協定に基づく事業の概要】

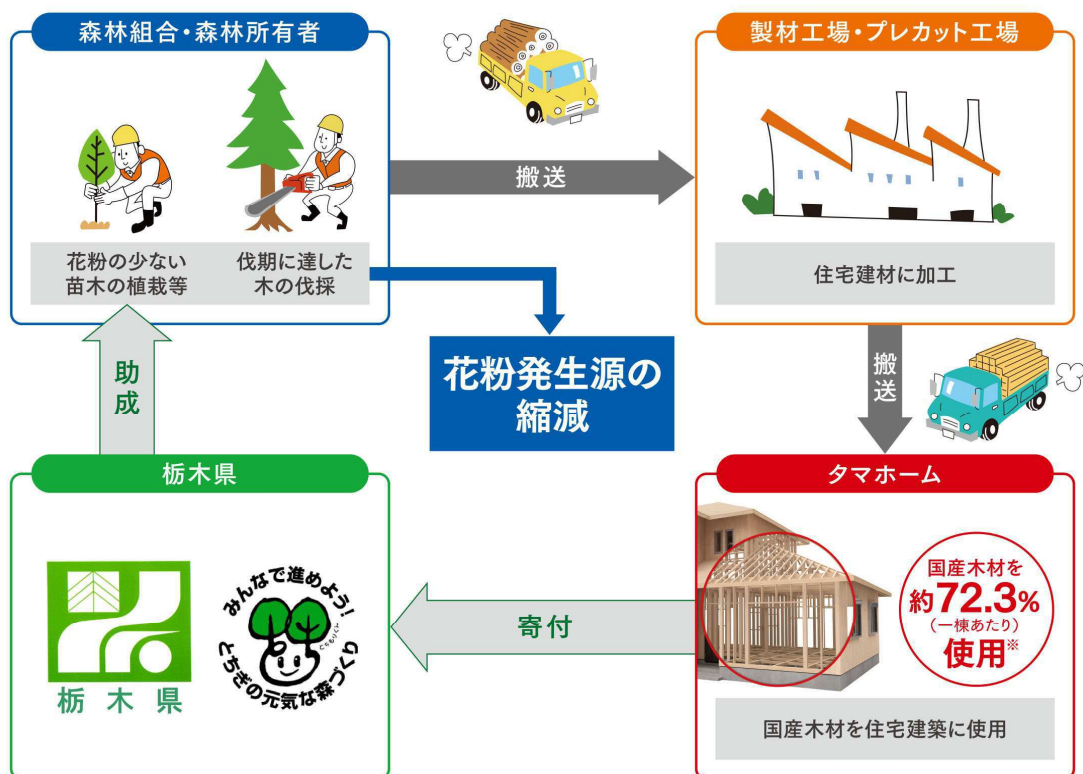
- ◇ 栃木県は、タマホームの支援を受け、再造林に際して花粉の少ない苗木を植栽し、必要に応じて下刈りや獣害対策を行うなど、花粉の少ない森づくりを進める。
- ◇ タマホームは、栃木県産出材を積極的に利用するとともに、栃木県の花粉の少ない森づくりへの経費の支援を行う。
- ◇ 協定の期間は締結日より2023年3月末まで。



少花粉スギ苗木生産現場（小山市）



少花粉スギ苗木植栽施工のようす（日光市）



※国産材使用率:大安心の家・大安心の家[愛] [暖]の構造躯体による国産材使用率は、一棟あたり約72.3%となります。その他商品の国産材使用率は異なります。(平成28年3月時点、自社調べ)

事業スキームのイメージ

栃木県 : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>

タマホーム株式会社 : <http://www.tamahome.jp/>

本リリースに関するお問合せ先

タマホーム株式会社 経営企画部 広報・IR 課

TEL:03-6408-1200(代表)

受付時間:平日 9:00~18:00

※当社では毎月第3水曜日を全社定休日とさせていただいております。何卒ご了承ください。